



環境情報流通実証実験

環境情報流通実証実験TF



目次

1. 実証実験の目的
2. 参加企業
3. 実証実験環境
4. 検証範囲
5. スケジュール

1. 実証実験の目的

1. AIS作成支援ツールの検証

(1) AIS作成支援ツールの基本機能の確認

- － 原部品のAIS作成:物質からア－ティクルへ変換する最初のAISを作成。
- － 複合化:複合購入部品を製品構成に合わせて寄せ合わせる。
- － 中抜き:伝達すべき物質が含まれている情報に纏める。
- － 単純化:『伝達すべき候補』の管理物質毎の集計と、材質毎の集計を行い記載する。

(2) JEITAオプション機能

- － 積重ね:階層に構成する(複合)ア－ティクルから原部品の各階層の名称を記載し、各階層の員数を記載する。
- － 複合化:複合購入部品を製品BOMに合わせて一括して積上げを行う。
- － シリーズ品一括作成:シリーズ品基本情報をシリーズ品番に分解してXMLファイルを作成する。

(3) AIS作成ツールの操作性

- － JEITA版AIS作成支援ツール
- － JAMP版AISツール
- － 環境情報システム
- － ASPのWebシステム

1. 実証実験の目的(2)

2. 環境辞書とAIS/XMLスキーマの整合性の検証

環境辞書を実装したシステムにより、AIS等で作成したXMLスキーマを格納し環境辞書構造との整合性を確認する。

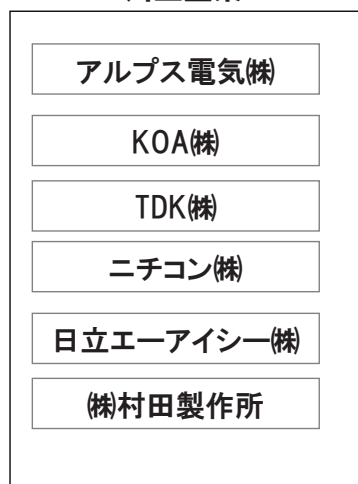
- ・JEITA版AIS作成支援ツール
- ・JAMP版AISツール
- ・環境情報システム

3. 全体プロセスの評価

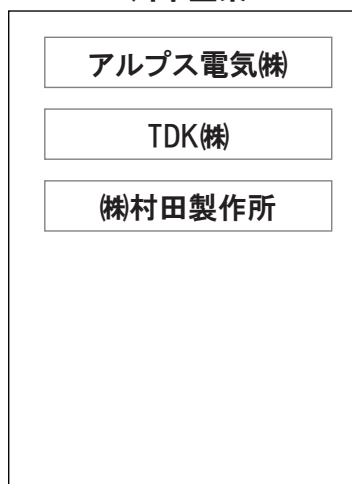
- 1)TPAの運用と取決め内容
- 2)対象品種別による作成負荷の検証
- 3)交換履歴の管理
- 4)ASPサービスの内容と運用性
- 5)自社社内システムとの連携に対する課題の抽出

2. 参加企業

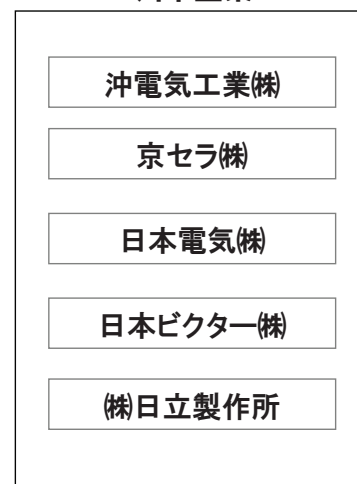
川上企業



川中企業



川下企業



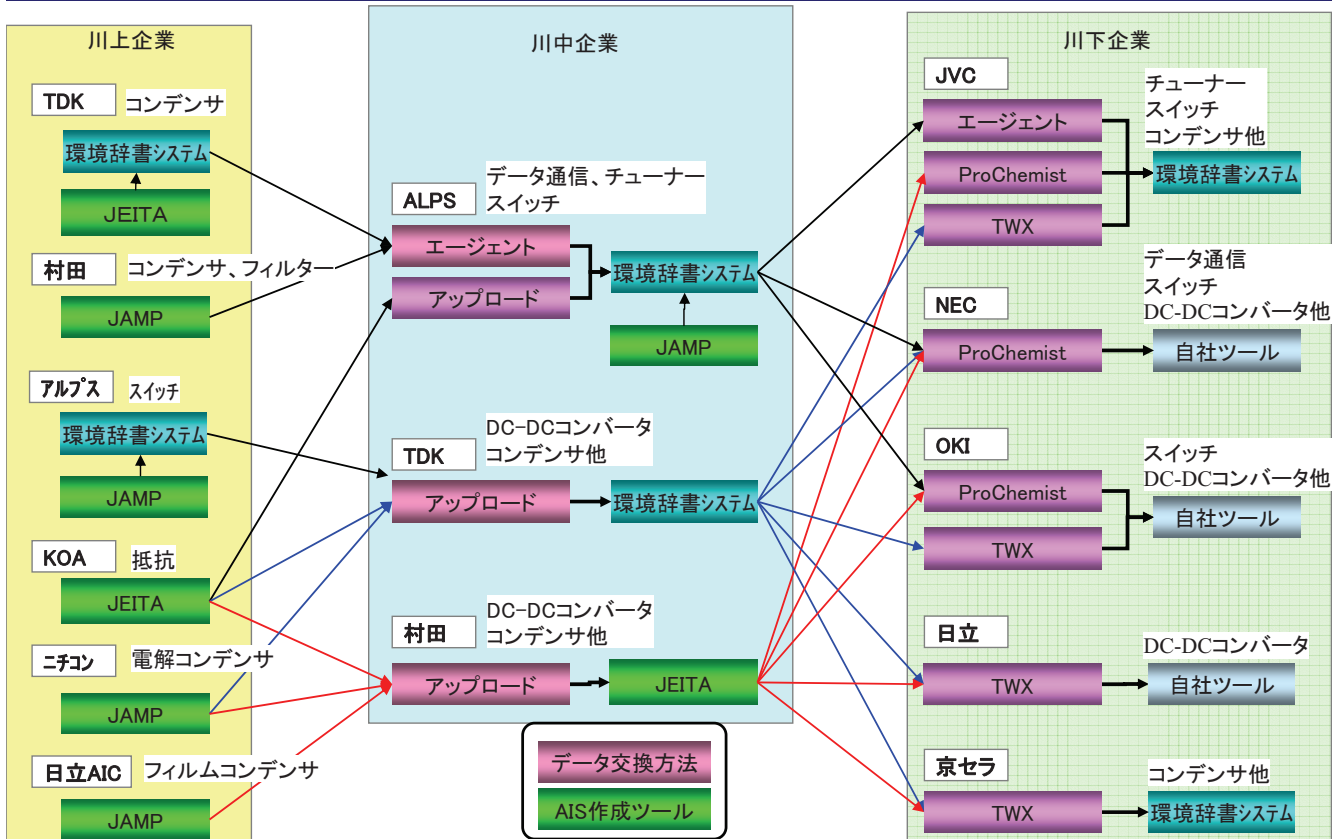
ASPベンダー

日本電気(株)

(株)日立製作所

・提供企業—入手企業の組合せ毎に品目・交換方法を決定

3. 実証実験環境



4. 検証範囲(1)

(1)対象ツール及びスキーマ

1. 情報作成ツール

1) AIS

- ECALGA版(V. 3)
- JAMP版(V. 3)

2) JAMP版MSDS+(V3)

企業間交換はなし

2. 交換データフォーマット

1) ECALGA辞書Xmlスキーマ

3. 物質リスト

1) SVHCリスト(15種類)

5. スケジュール

項目	6月		7月				8月					9月				10月			
	22	29	6	13	20	27	3	10	17	24	31	7	14	21	28	5	12	19	26
準備	NEC/日立 AS申込書提出																		
	参加企業申し込み																		
	疎通確認																		
	環境辞書システムインストール																		
	川上企業への説明会																		
	川上3社のAIS作成ツールの準備																		
	環境辞書システム環境設定																		
	評価項目見直し																		
	対象品目確定																		
実証実験	実証実験																		
	中間確認																		
	評価																		
	環境辞書・AISへのフィードバック																		
	二次実証実験検討																		